

平成 25 年度 メンタル系疾患(被保険者:入院外)の動向に関するレポート

平成 27 年 3 月

IT 推進部 データ分析推進グループ

調査の概要及び対象データ

本レポートは、職場のメンタルヘルス対策の観点から、609 組合の被保険者(約 661 万人)を対象に、①「気分[感情]障害」、②「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の「入院外」における有病者数や医療費についてとりまとめたものです。(なお、75 歳以上の加入者は原則、後期高齢者医療制度の適用対象者のため統計上存在しないはずですが、①診療年月日を診療年月の月末として計算しており、75 歳の誕生日を迎える月で、誕生日前に診療を受けた場合には年齢が 75 歳となるため、75 歳以上に計上しているほか、②外国に住所を有する 75 歳以上の加入者についても 75 歳以上に計上しています。)

調査対象疾患

F30-F39		気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
1	F30,F31,F32	①躁病エピソード、②双極性感情障害<躁うつ病>、③うつ病エピソード、④反復性うつ性病障害、⑤持続性気分[感情]障害、⑥その他の気分[感情]障害、⑦詳細不明の気分[感情]障害
	F33,F34,F38	
	F39	
F40-F48		神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
2	F40,F41,F42	①恐怖症性不安障害、②その他の不安障害、③強迫性障害<強迫神経症>、④重度ストレスへの反応及び適応障害、⑤解離性[転換性]障害、⑥身体表現性障害、⑦その他の神経症性障害
	F43,F44,F45	
	F48	

調査対象データ

組合数	点数表	区分	加入者数 (人)	レセプト件数 (件)
609 組合	入院外	被保険者	6,614,077	3,113,306
		男性	4,373,221	2,058,417
		女性	2,240,857	1,054,889

(※加入者数は月平均の加入者数のため、端数処理の関係上、合計が一致しない。)

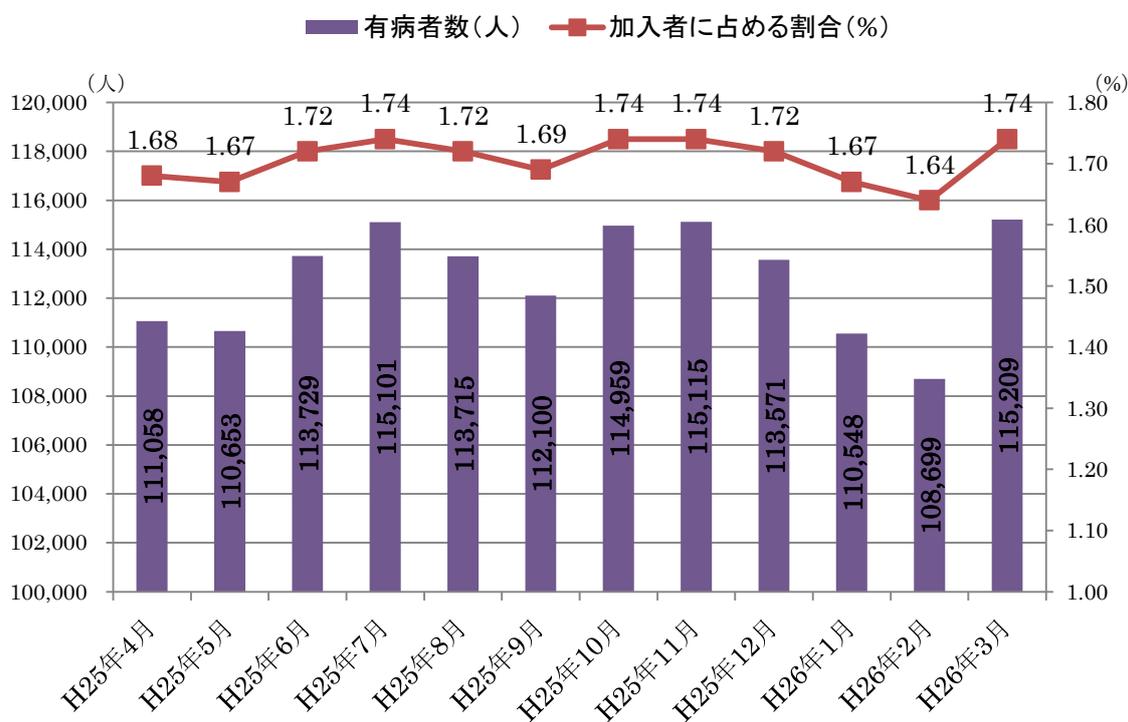
1. 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)

(1) 有病者数の動向

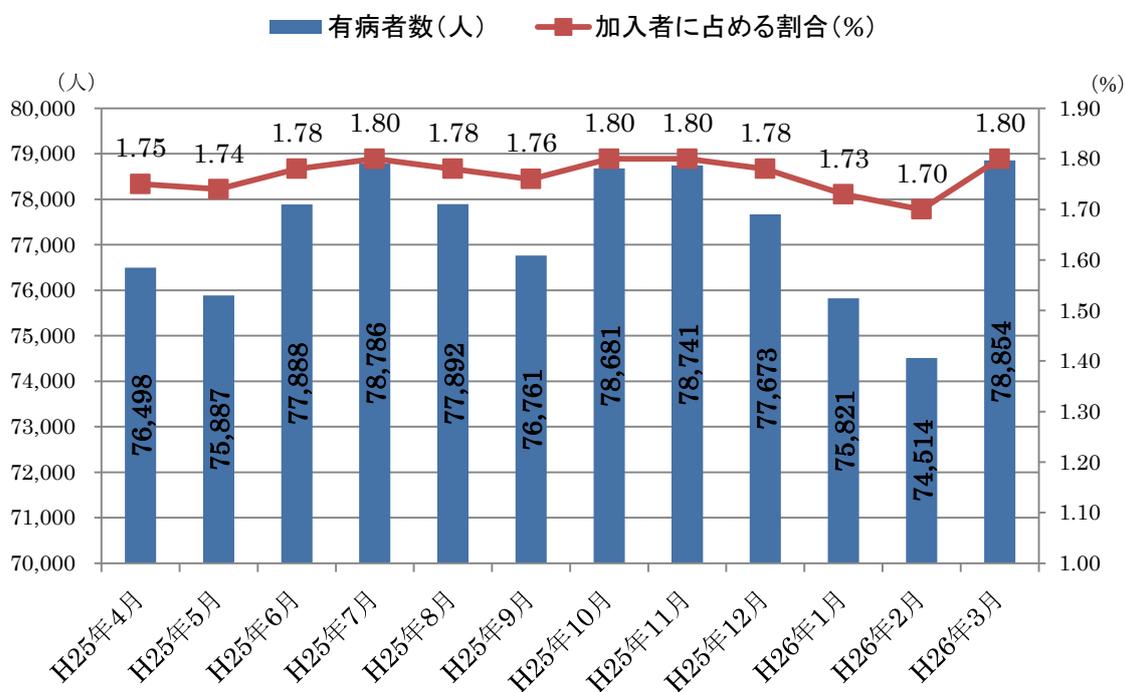
- 被保険者に占める「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の有病者数の割合は平均:1.71%で、月別にみると1.64%~1.74%で推移している。
- 有病者数の月別推移をみると、6月、7月、10月、3月に増加する傾向が示されている。
- また、男女別では、有病者数の月別推移は同様の傾向にあるが、加入者に占める割合は、男性:1.70%~1.80%、女性:1.53%~1.62%と、男性のほうが有病者数の割合が高い(p3)。

加入者に占める有病者数の割合(平均)	1.71%
--------------------	-------

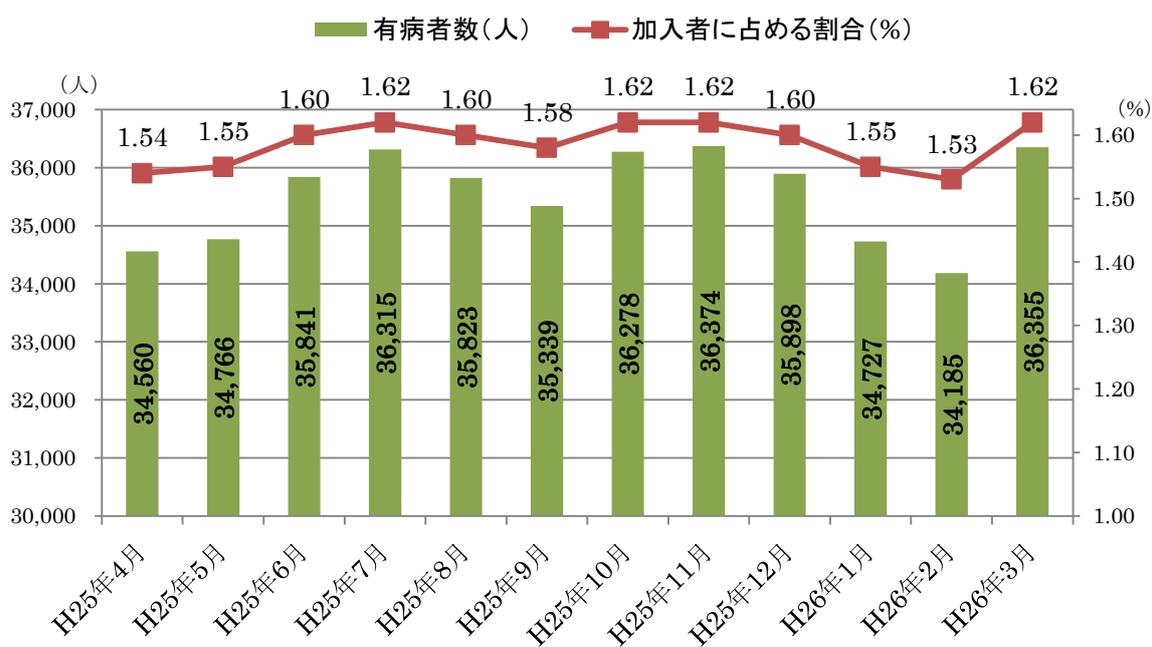
有病者の月次推移:被保険者【合計】



被保険者【男性】



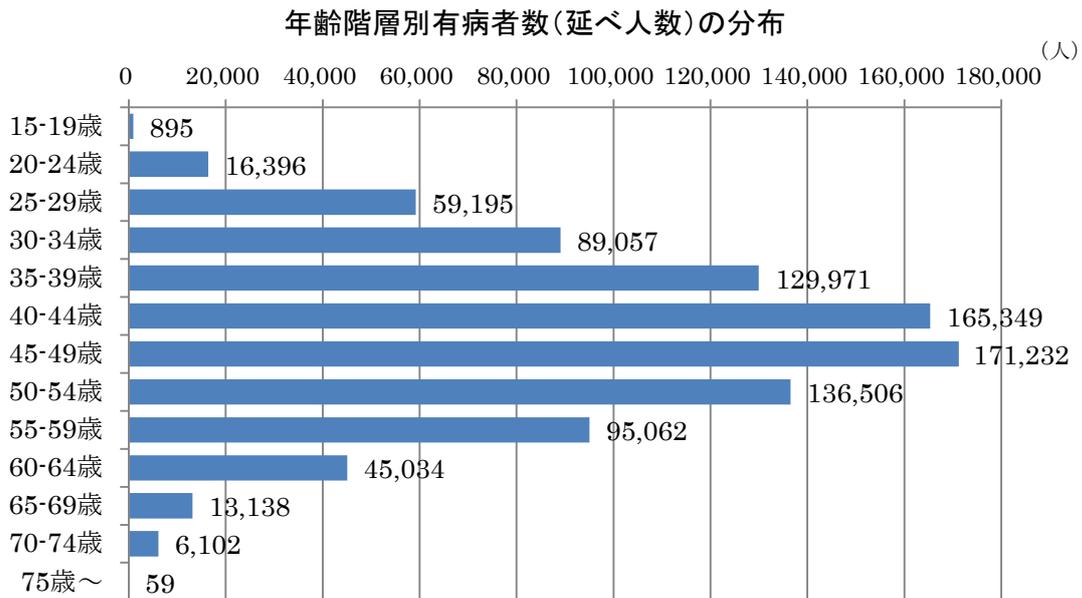
被保険者【女性】



(2) 年齢階層別有病者数(延べ人数)の分布

- 年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の有病者数をみると、男性では、最も多いのは①45-49歳で、次いで、②40-44歳、③50-54歳となっている。
- また、女性では、最も多いのは①40-44歳で、次いで、②35-39歳、③30-34歳となっており、男性に比べ年齢階層が低い傾向が示されている。

被保険者【男性】

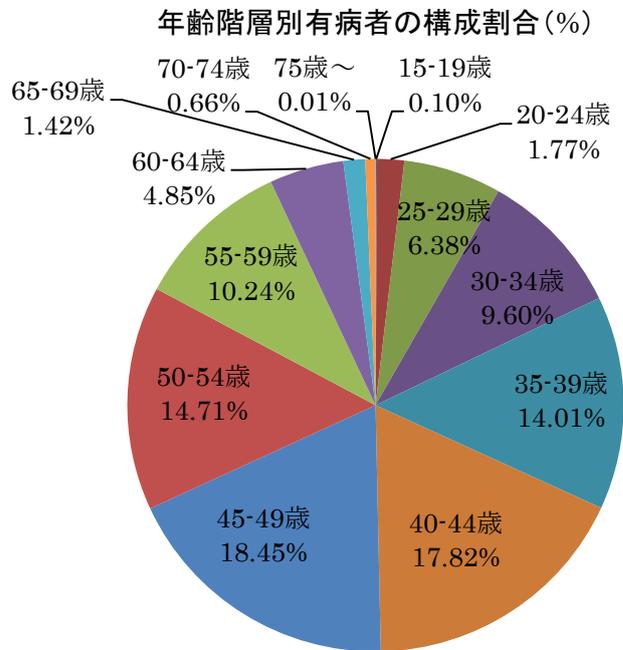


被保険者【女性】

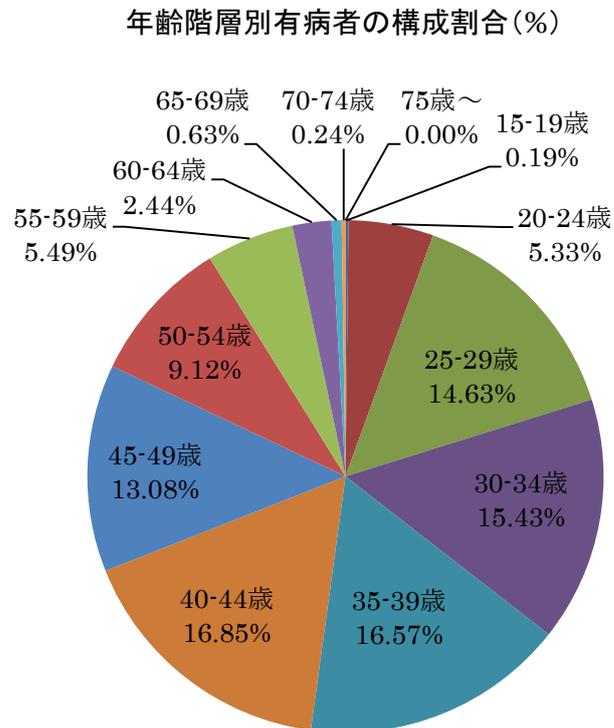


(3) 年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



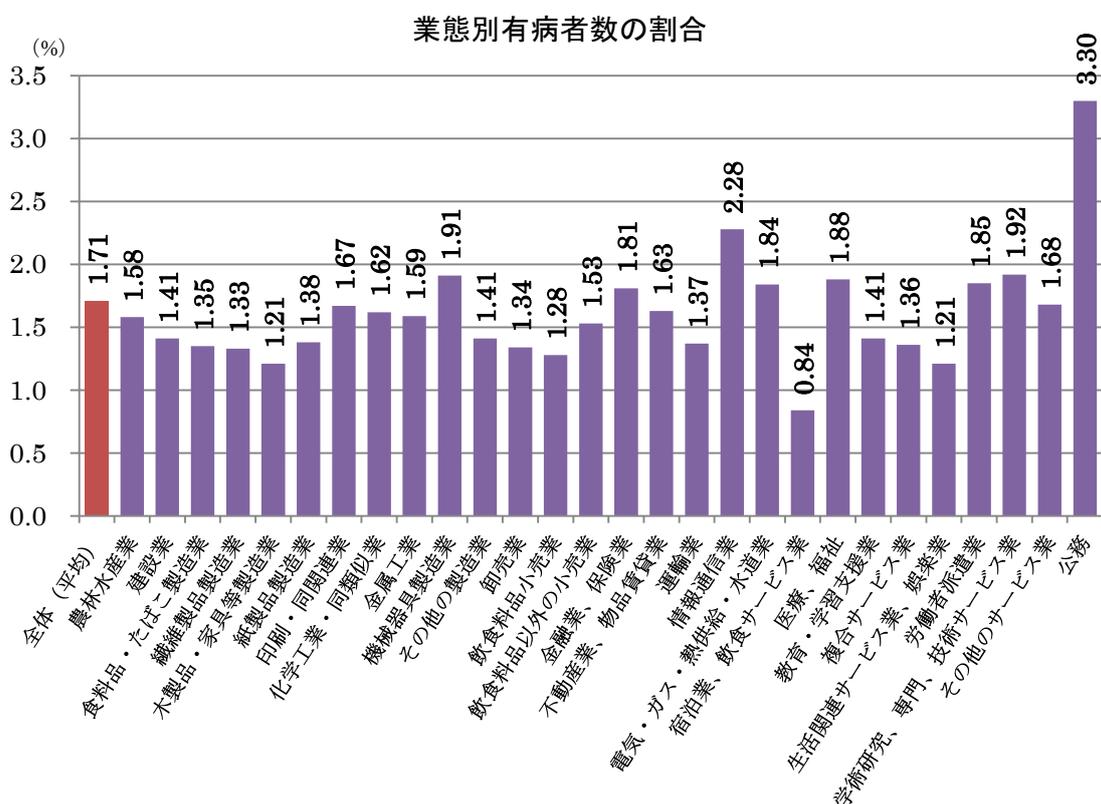
被保険者【女性】



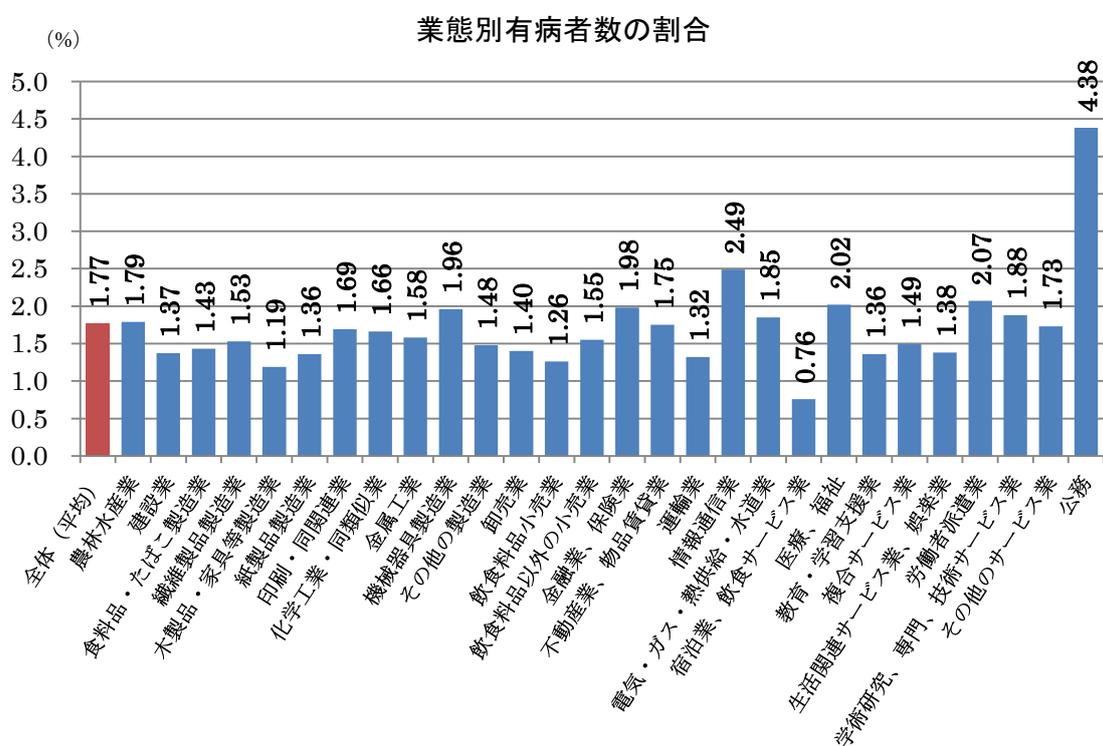
(4) 業態別にみた加入者に占める有病者数(延べ人数)の割合

- 業態別に加入者に占める有病者数の割合をみると、全体(平均):1.71%に対して、最も高いのは、①公務:3.30%で、次いで、②情報通信業:2.28%、③学術研究、専門、技術サービス業:1.92%となっている。
- また、男女別にみると、男性では全体(平均):1.77%に対して、①公務:4.38%が最も高く、次いで、②情報通信業:2.49%、③労働者派遣業:2.07%となっている。
- 女性では全体(平均):1.59%に対して、①公務:2.43%、②学術研究、専門、技術サービス業:2.02%、③情報通信業:1.86%となっており、男性に比べ女性のほうが比較的低い割合を示している(p7)。

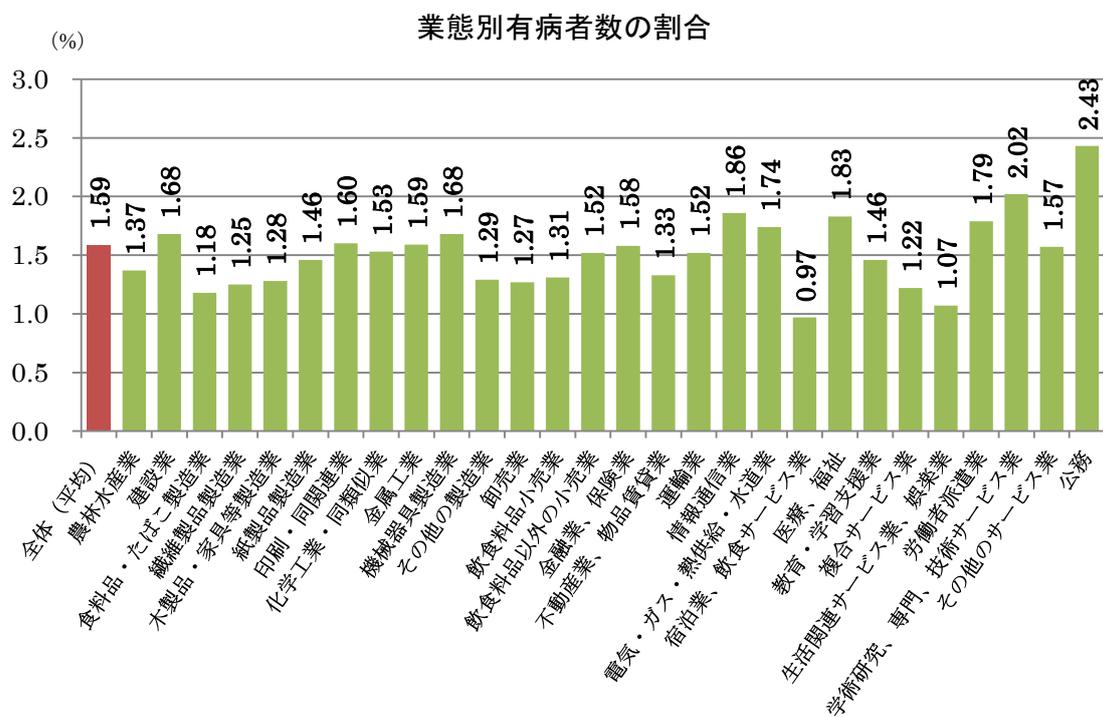
被保険者【合計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(5) 1人当たり医療費及び医療費3要素

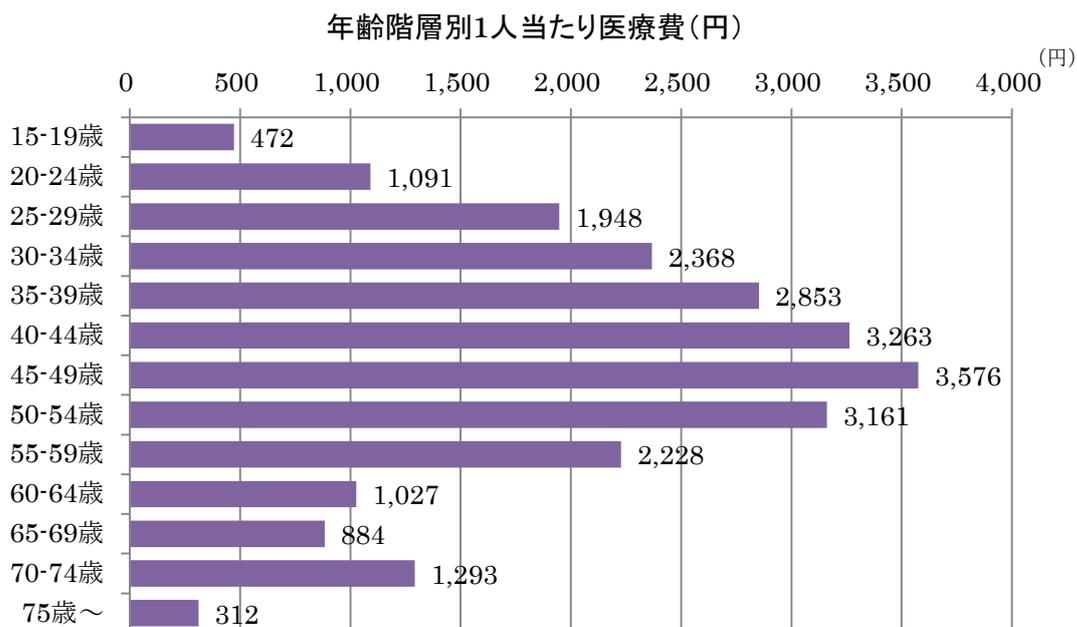
- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の1人当たり医療費では、全体:2,510円、男性:2,691円、女性:2,156円となっており、男性のほうが高くなっている。
- 受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費についても同様の傾向が示されている。

	区分	1人当たり医療費(円)	受診率(千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
被保険者	合計	2,510	209.6811	1.57	7,638
	男性	2,691	217.5762	1.57	7,868
	女性	2,156	194.2730	1.56	7,130

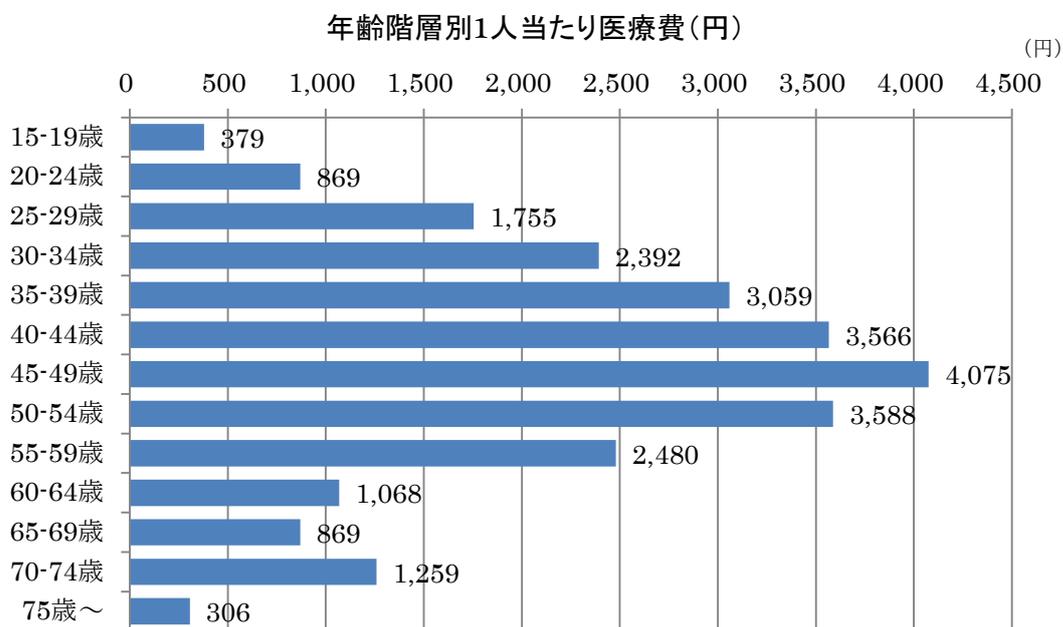
(6) 年齢階層別1人当たり医療費

- 年齢階層別の1人当たり医療費をみると、最も高いのは45-49歳:3,576円で、次いで、②40-44歳:3,263円、③50-54歳:3,161円となっている。
- 男女別でみると、男性では①45-49歳、②50-54歳、③40-44歳の順に高く、女性では①40-44歳、②35-39歳、③45-49歳と、男性に比べ比較的若い年齢層で高い傾向が示されている(p9)。

被保険者【合計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



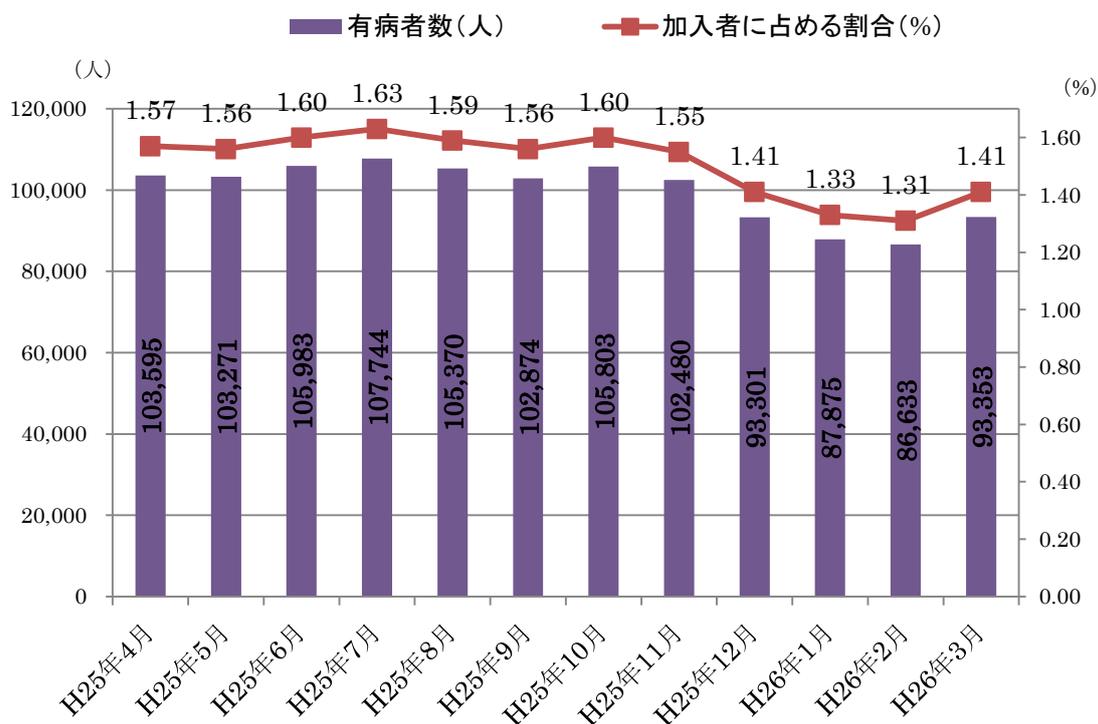
2. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

(1) 有病者数の動向

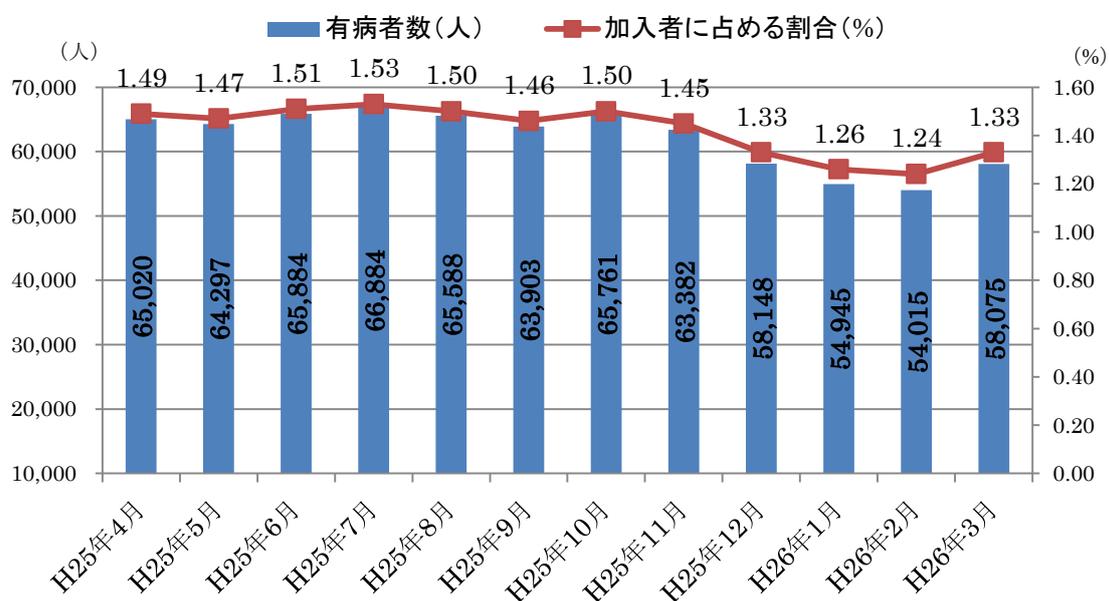
- 被保険者に占める「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の有病者数の割合は平均:1.51%で、月別にみると、1.31%~1.63%で推移している。
- 有病者数の月別推移をみると、6月、7月、10月、3月に増加する傾向が示されている。
- また、男女別では、有病者数の月別推移は同様の傾向にあるが、加入者に占める割合は、男性:1.24%~1.53%、女性:1.46%~1.82%と、女性のほうが有病者数の割合が高い(p11)。

加入者に占める有病者数の割合(平均)	1.51%
--------------------	-------

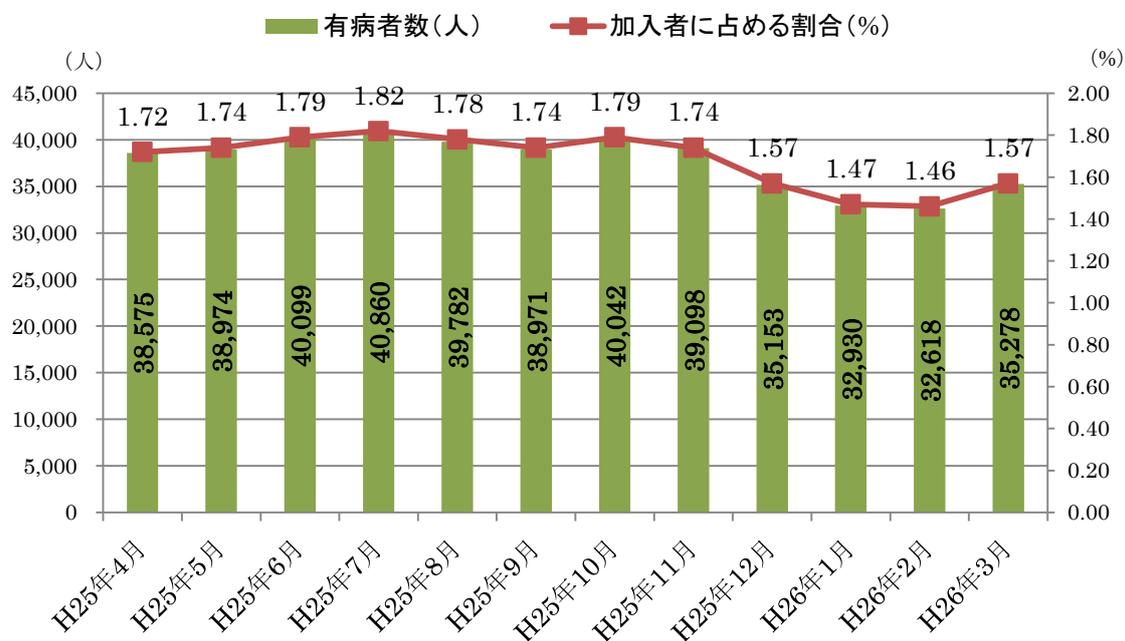
有病者の月次推移:被保険者【合計】



被保険者【男性】



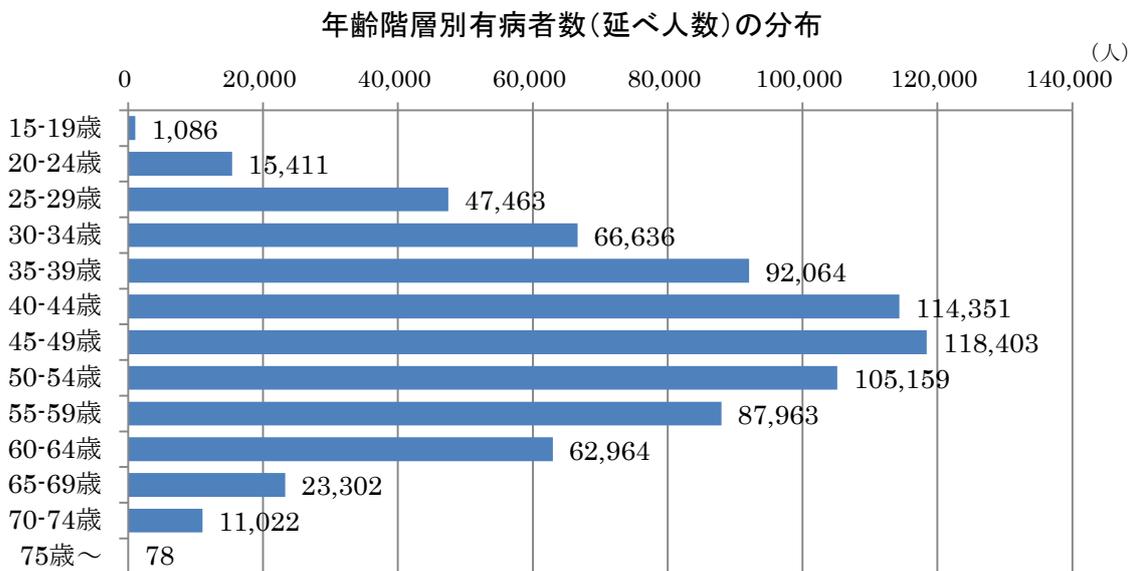
被保険者【女性】



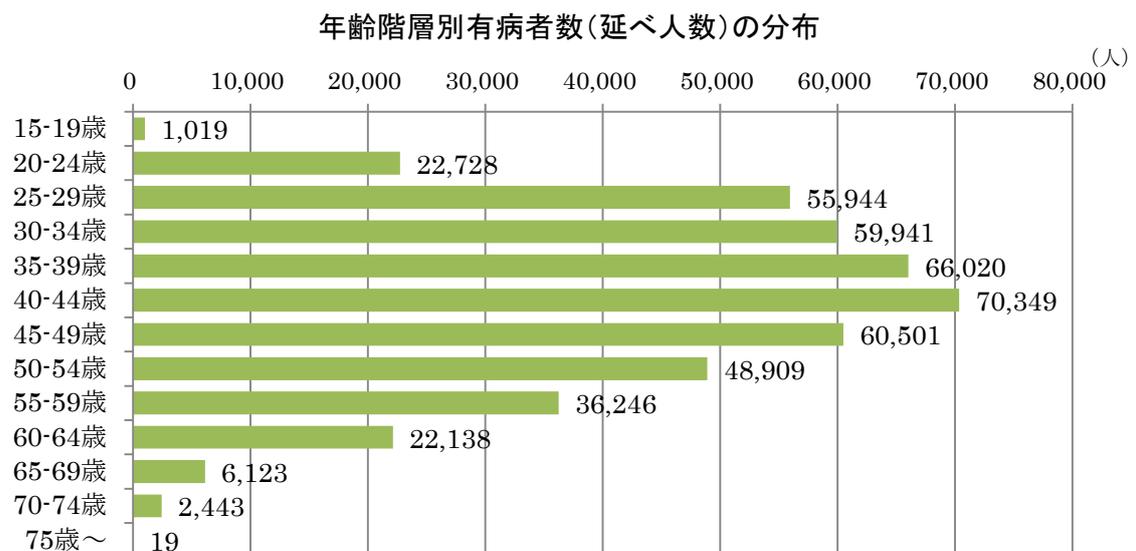
(2) 年齢階層別有病者数(延べ人数)の分布

- 年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の有病者数をみると、男性では、最も多いのは①45-49歳で、次いで、②40-44歳、③50-54歳となっている。
- また、女性では、最も多いのは①40-44歳で、次いで、②35-39歳、③45-49歳となっており、男性に比べ年齢階層がやや低い傾向が示されている。

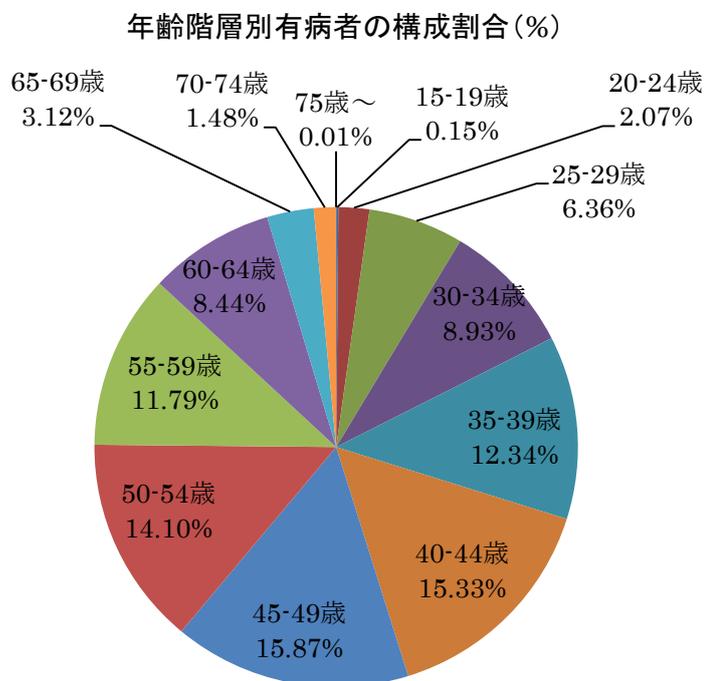
被保険者【男性】



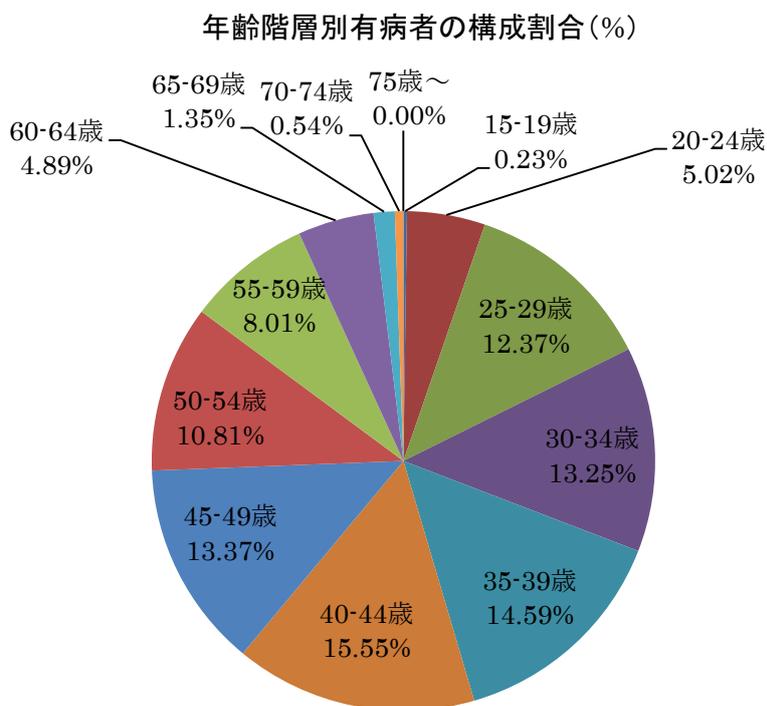
被保険者【女性】



(3) 年齢階層別有病者の構成割合
被保険者【男性】



被保険者【女性】



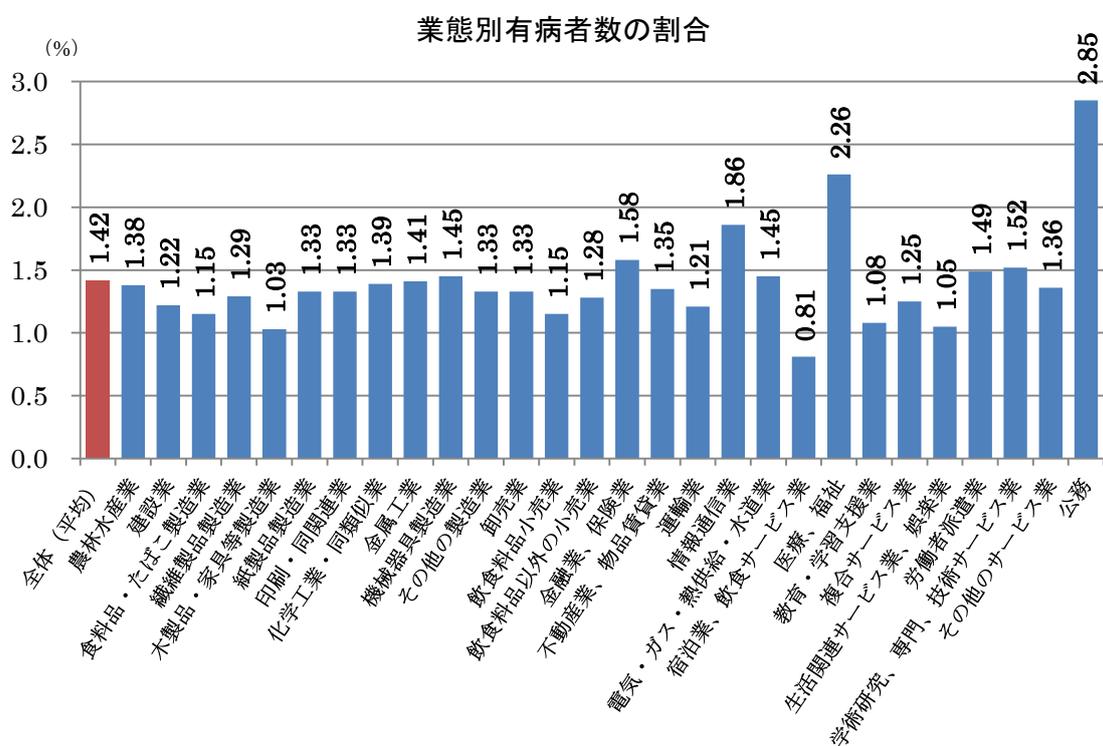
(4) 業態別にみた有病者数の割合

- 業態別に加入者に占める有病者数の割合をみると、全体(平均):1.51%に対して、最も高いのは、①公務:2.62%で、次いで、②医療、福祉:2.39%、③情報通信業:1.85%となっている。
- また、男女別にみると、男性では全体(平均):1.42%に対して、①公務:2.85%が最も高く、次いで、②医療、福祉:2.26%、③情報通信業:1.86%となっている。
- 女性では全体(平均):1.68%に対して、①公務:2.44%、②医療、福祉:2.44%、③紙製品製造業:2.15%となっており、男性に比べ女性のほうが比較的高い割合を示している(p15)。

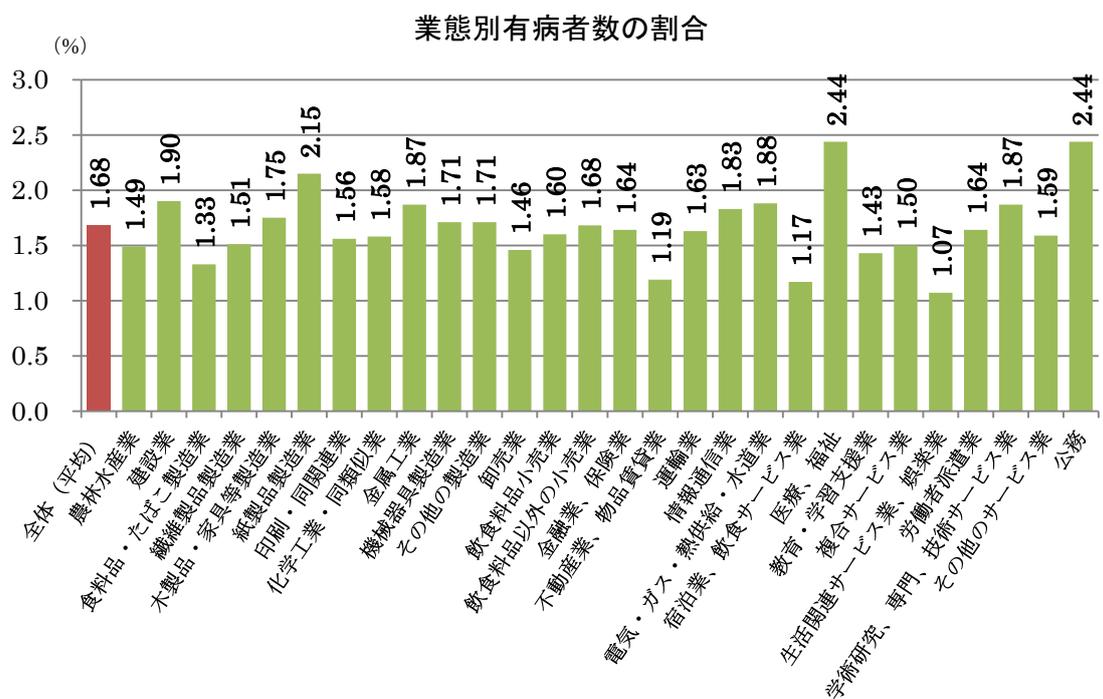
被保険者【合計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(5)医療費 3 要素

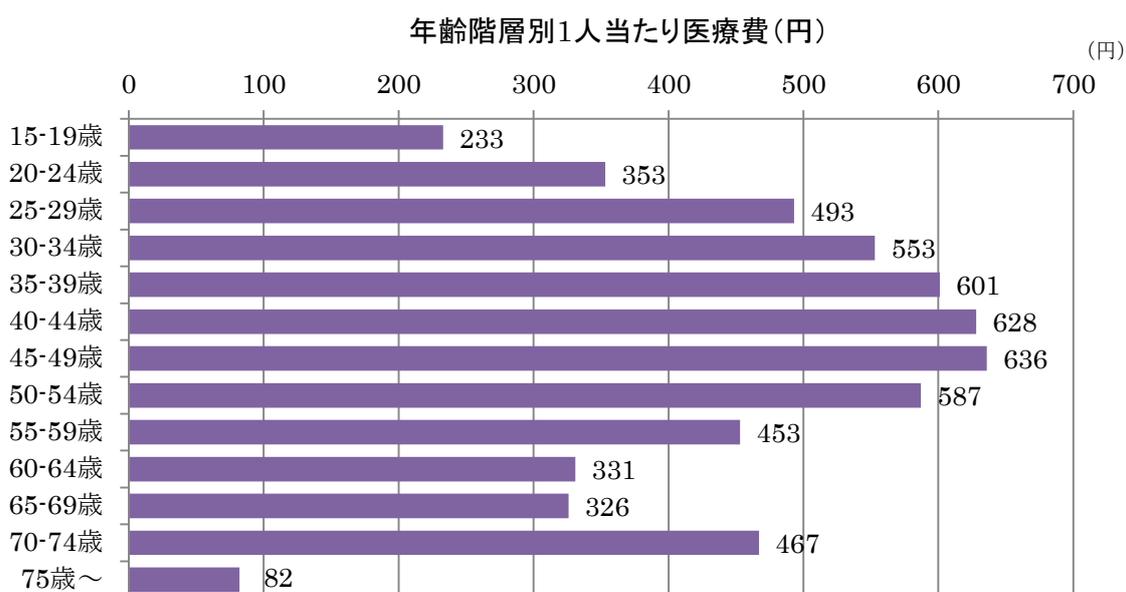
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の 1 人当たり医療費では、全体:534 円、男性:491 円、女性:617 円となっており、女性のほうが高くなっている。
- 受診率、1 日当たり医療費についても同様の傾向が示されている。

	区分	1 人当たり 医療費(円)	受診率 (千人当たり)	1 件当たり 日数(日)	1 日当たり 医療費(円)
被 保 険 者	合計	534	185.5240	1.48	1,949
	男性	491	174.4428	1.48	1,908
	女性	617	207.1498	1.48	2,015

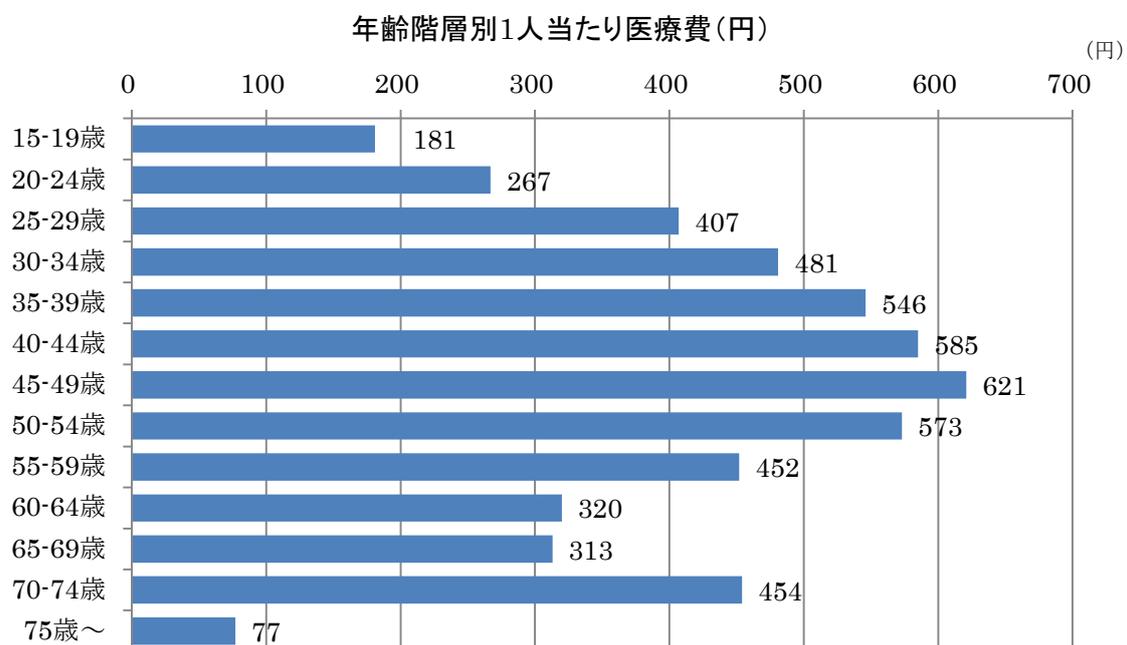
(6)年齢階層別 1 人当たり医療費

- 年齢階層別の 1 人当たり医療費をみると、最も高いのは 45-49 歳:636 円で、次いで、②40-44 歳:628 円、③35-39 歳:601 円となっている。
- 男女別でみると、男性では①45-49 歳、②40-44 歳、③50-54 歳の順に高く、女性では①40-44 歳、②35-39 歳、③45-49 歳と、男性に比べ比較的若い年齢層で高い傾向が示されている(p17)。

被保険者【合計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】

